



6月 12 日 (金) 12:30~ ZOOM ミーティング

卓話 : 「雇用調整助成金の実務について」 金山 駿氏

※ ダウンロード方法、使い方がわからない方は藤井幹事へご連絡のほどお願いします。

6/5 (金) 12:30~13:30まで、赤坂ロータリークラブで zoom での集まりが開催されました

6/5 金 1230~1330まで、今週も赤坂ロータリークラブで zoom での集まりが開催されました。

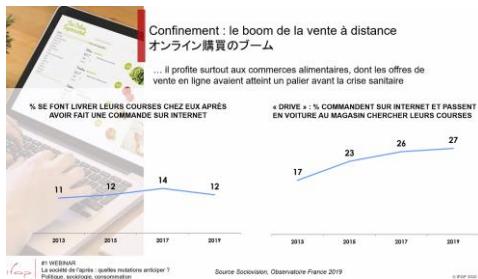
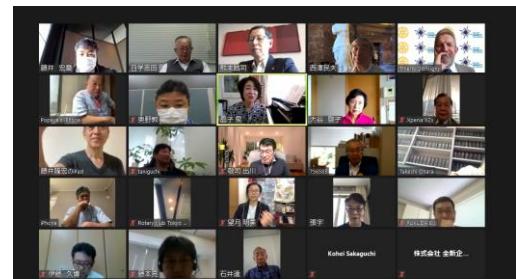
本日はティエリ・コンシニ氏の卓話『フランスにおけるコロナの影響について』でした。

フランスでのコロナウィルス感染者数は 151,677 人、日本の 16.7 倍、死亡者数は 29,021 人で日本の 32 倍にもなったそうです。さらに日本では強制的な外出禁止はしていないのに対し、フランスでは 15,000 円ほどの罰金が課される厳しい外出禁止令がだされたとのこと。企業に対しては強制的にテレワークとされ、2カ月半ほど続いたそうです。そういったことからも日本はしっかりとソーシャルディスタンス等の対策が行われているとみられているようです。パン屋など日常に必要な店は営業しており、外出も犬の散歩は認められていたため、隣人の犬を借りて散歩するなど人間は工夫を凝らしているが、犬は1日2回も3回も散歩に付き合わされ少々疲れているといった笑い話もありました。さらに先日日本では、医療従事者などに対する敬意、感謝を示すためにブルーインパルス飛行が行われましたが、フランスでも決まった時刻にテラスから拍手を送り感謝の意を示したことです。その他、失業者数の増加、将来への不安の増加、今まででは3割程度のオンラインショッピングが6割にも達した等、グラフを用いて分かりやすい説明がありました。現在フランスとヨーロッパ各国の国境は閉鎖されていますが、今月の中旬くらいに新しい方針を決めるそうで、Withコロナへ向けて踏み出している様子が伺われました。最後の質疑応答では、日本の水際対策の素晴らしいにも触れ、フランスでは来年のオリンピック開催について期待しているとのことです。

次週以降も zoom でミーティングを行います。ご都合つく方はご参加ください。

6/12(金)12:30 から、卓話は金山駿氏による「雇用調整助成金の実務について」

6/19(金)12:30 から、卓話は宿輪純一氏による「アフターコロナ、デジタル化で経済成長／逆に『人』を磨け」



本日参加者 26 名(順不同 敬称略)

土屋 熊本 福田 穂苅 小原 岩上 伊藤 大谷 張 吉田 石井(達) 石井(謙) 西澤 淩沼 藤井  
(宏) 森本 泉 出川 コンシニ 藤井(隆) 入澤 坂口 谷口 奥野 藤本 望月

## 5/29 卓話 : 「中国におけるコロナ情勢」 張 宇 氏

(一) 今日は中国のコロナ禍の対応について、会員の皆様にご紹介するチャンスを頂き、有り難うございます。私の話は親戚や、同級生、友達から得たもので、会員の皆さんには、いずれご参考までして頂ければと幸いです

2020年1月から、中国の武漢で「コロナウイルスの爆発地」として、注目されました。

中国の人口は14億人、行政区割は23の省、4の直轄市、5の自治区、2の特別行政区となります。



武漢市は湖北省にあり、人口は1400万人です。位置は乗り継ぎハブとして、鉄道、水路、高速道路、空路などの交通の要所となっております。80余りの大学高等教育機関が密集するところでもあります。

中国は毎年旧正月を祝う習慣があり、2020年の旧正月は1月25日でした。1月18日に武漢は例年のイベントとして【万家宴】を開催しました。参加人数はおよそ4万人で、お正月料理は13986品を提供されました。(なかなか美味しいそうです。)

そのイベントに参加した住民はその後高熱、咳などの症状が訴え、87名の感染者を後から判明されました。

診察するために病院の外に長い行列を並べ、院内に入って、廊下を埋める人びとは缶詰状態でした。全く医療混乱と崩壊の状態に陥ってしまいました。この時、マスクや防護服と医療器材の不足で、医師や看護師まで感染されました。

武漢市中心病院の眼科医であった李文亮さんはコロナウイルスで35才の若さでなくなりました。

- ※ 医師を殴ったり、
- ※ 病院を清掃する人手不足、
- ※ 重症患者さんを寒さの中、2時間車内に置き去り、

1月23日から武漢市は「ロックダウン」、解除は4月8日まででした。

(78日間)。同時に全国は緊急事態宣言に入り、1月26日から全国の医療従事者を集め、武漢の医療を応援し、合わせて42000人を派遣しました。

※「方倉医院」(野営病院)2つを作りました。軽症患者は「方倉医院」で隔離しながら治療を受けてます。重症になった患者は指定病院に搬送されました。



### (二) 各省の対策

北京市と上海市は2月の中旬と下旬から、徐々に仕事の復帰が始まりました。

- ※ 市か省を跨ぐ移動はできません。
- ※ 市民生活は相変わらずに、団地の出入りはマスク着用の義務化と検温。
- ※ 公園の出入りはネット上登録し、入園人数を制限されました。
- ※ 携帯電話の「健康データ」のアプリを使い。
- ※ 今は全国移動が可能となりました。



### (三) 今の武漢と全国の感染情報

Human Right or Human Left (隔離すれば人権がない、隔離せずに命が危ない)

※ 4月末から湖北省と武漢市の市民全員はPCR検査を受けられました。1000万人のうち、300人の無症状感染者がいます。このデータにより、[复工](仕事の復帰)、[復学] (学校の復帰)に対し湖北省医療保障局はリスクコントロールしています。

※ 毎日10人ぐらいの感染者情報を公表しています。多数は海外から輸入型です。

※ 7月から11月までは、リスク回避しながら、医療機関の対応は心配がなさそうです。冬到来は懸念されます。(中国工程院の院士鐘南山様(現国家衛生健康委員会専門家グループ長、専門は疫学、呼吸器学、臨床医学)、上海華山医院感染科主任医师張文宏様の発言)。

※ 私個人のお勧め 毎日、卵□1-2個、牛乳□を飲む タンパク質の摂取はいいそうです。肺筋運動を強くする。

- 1) 腕の内側をマーサージ
- 2) 胸のマーサージ
- 3) 両脇を挟んで、両手を開く

少し長くなりましたが。お付き合いして頂き、ご清聴ありがとうございました。